

たきかわ「^わ環のまち」物語
年次報告書（案）
（平成23年度評価版）

滝川市

たきかわ「^わ環のまち」物語 年次報告書とは

滝川市では「たきかわ「環のまち」物語～滝川市環境基本計画・地域行動計画～」(以下、「環境基本計画」という。)という環境に関する計画を平成18年3月に策定(平成23年3月に改訂)しました。環境基本計画では、滝川市では環境においてどのような取組が行われているか、また実際にはどこまで成果が上がっているのかなどを、毎年、検証することにも取り決めています。この報告書はその一環として前年度の状況などをとりまとめて、皆さんにご報告するためのものです。

☆「たきかわ「環のまち」物語 ～滝川市環境基本計画・地域行動計画～」とは

ひとくちに環境といっても、様々な切り口がありますが、この計画では次の4つの視点(ここでは「物語」と呼んでいます。)から目指すべき将来の姿を描いた上で、それぞれにおいて達成すべき数値目標などを設定しています。

1 資源の環(わ) 循環 物語

廃棄物の発生抑制やリサイクルを推進します。

2 創エネ・省エネ 物語

エネルギーの消費抑制、再生可能エネルギーの利活用を推進します。

3 農・山・川 物語

豊かな自然環境、農業にふれあい、育む活動を推進します。

4 人の環づくり 物語

環境づくりを担う人材育成とネットワークづくりを推進します。

計画では次のとおり具体的な数値目標を設定しています。

項 目	H16 (参考)	H27 目標値	備考
市民1人・1日当たりのごみ排出量(家庭系)	606g	470g	1日1人当たりの排出量(家庭系のみ)
リサイクル率	21.7%	30.0%	—
省エネモニターのCO ₂ 削減量	—	前年比平均1%減	—
滝川市の公共施設におけるエネルギー消費量	—	原単位で1%削減	—
農業体験授業(事業)実施校数	—	40校	H23～27の累計
石狩川ルネサンスの森市民植樹祭植樹本数	—	7,700本	H18～27の累計
環境学習リーダーの人数	—	200人	H18～27の累計
環境市民大会の参加者数	—	100人	1開催につき
環境関連イベントにおける参加者の平均評価点		年間平均85点以上	満点を100点とする。

平成23年3月の改訂により数値目標が一部修正されています。

(1) 資源の環 (わ) 循環 物語

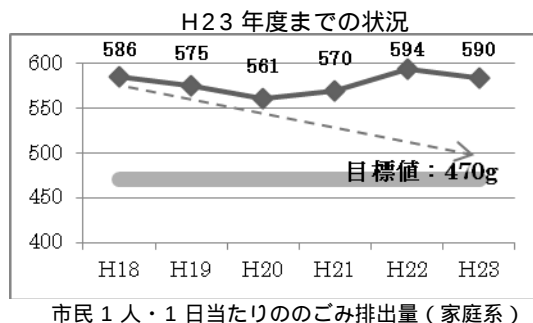
1 平成 23 年度における数値目標の達成状況について

市民 1 人・1 日当たりのごみ排出量 (家庭系)

(H23 年度から内容が見直された数値目標)

目標値 (平成 27 年度時点) 470 g / 人・日

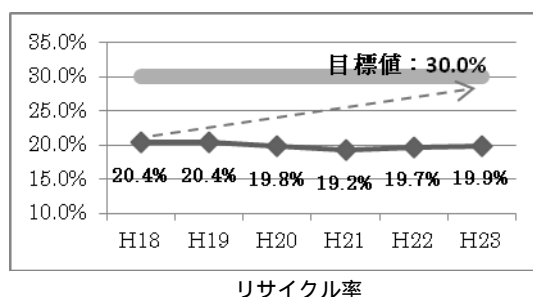
実績値 (平成 23 年度) 590 g / 人・日



リサイクル率

目標値 (平成 27 年度時点) 30.0%

実績値 (平成 23 年度) 19.9%



今後に向けた課題など...

排出量及びリサイクル率は古紙の分別回収の導入等により、若干、改善されましたが、目標値の達成に向けて更なる対策を打ち出していく必要があります。

2 平成 23 年度における主な取組について

(1) 集団資源回収事業

町内会をはじめとした各種団体において、資源の回収を奨励し、回収された資源の量に応じて、奨励金を交付するものです。

- ・実施団体数 166 団体
- ・補助金交付額 366 万円

単位: t

		23 年度	22 年度
区分	紙パック	6	7
	紙 類	1,456	1,539
	びん類	166	181
	金属類 (スチール缶、アルミ缶、その他金属)	107	119
	ペットボトル	95	111
	その他	1	1
	計	1,831	1,958

表 1 集団資源回収の回収内訳

(2) カレンダーリサイクル事業

年末年始に個人や事業所等で受け取るカレンダーや手帳などのうち、自ら使用する見込みのないものを提供していただき、これらを「駅前ひろば く・る・る」(スマイルビル地下 1 階)にて展示し、希望者に対してその場でお渡ししました。期間中に約 800 点が新たな持ち主に引き取られ、有効活用が図られることとなりました。

(3) 滝川市フリーマーケット情報交流事業

滝川市内で開催されるフリーマーケットの情報を市が滝川市公式ホームページや電子メールを通じてPRし、フリマの活性化を支援する取組です。電子メールでの情報は市内外を問わず予めアドレスを登録していただいた方に対して随時、送信します。

- ・ 発信したフリーマーケット開催情報の件数 7 件
- ・ メールアドレス登録者 62 名

滝川市フリマ開催情報が携帯電話からご覧いただけます。



ここからアクセス！

QRコードが読み込めるカメラ付き携帯電話で、市内で開催されるフリマ情報がご覧いただけます。

また、市役所くらし支援課のホームページから、開催情報の発信依頼や情報受信登録ができますので、ご利用下さい。



インターネットで「滝川 フリマ情報」と検索してみてください。

(4) 中学校への出前講座の実施

- ・ 実施日：平成23年4月19日
- ・ 実施校：江陵中学校
- ・ 対象学年：2年生(123名)
- ・ テーマ：ごみの分別とリサイクルについて

(5) ごみの組成調査の実施

実際に一般家庭から排出されたごみの内容を分析することにより、ごみ分別の状況を把握するとともに、さらなる減量化や資源化に向けた対策等を検討するため、組成分析調査を実施しました。

- ・ 実施日：平成23年9月22日
- ・ 対象ごみ：大町、黄金町、江部乙農村地区より排出された「燃やせるごみ」より袋単位で無作為に抽出

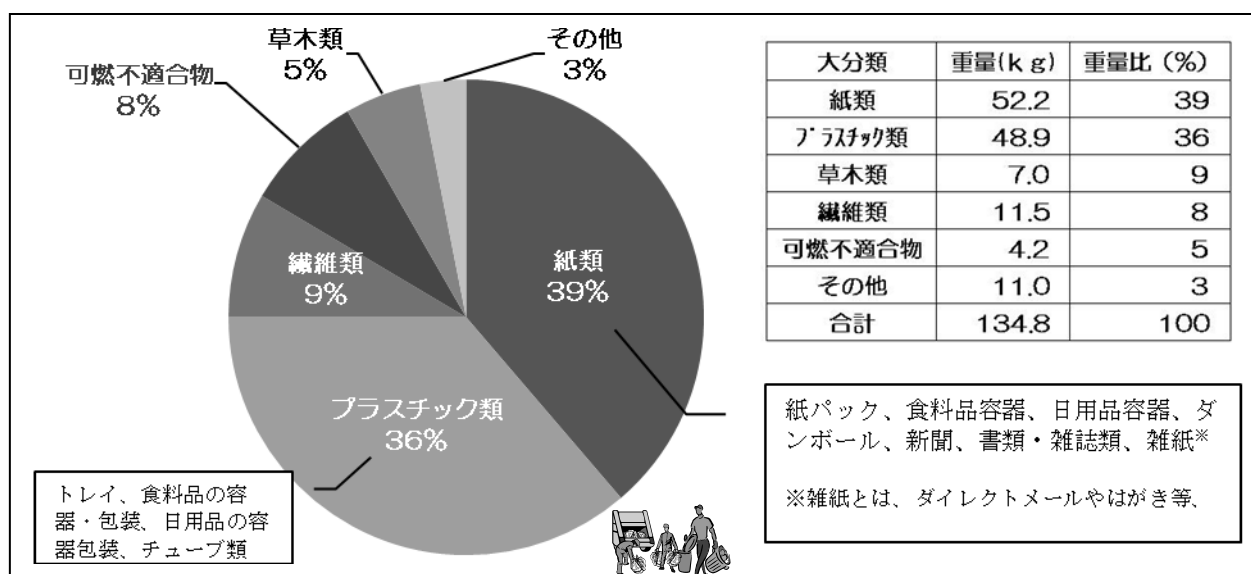


図1 燃やせるごみの組成内訳

区分		単位	23 年度	22 年度
収集人口		人	42,815	43,281
収集世帯		世帯	21,269	21,245
家庭系	生ごみ	トン	2,143	2,211
	燃やせるごみ	トン	5,475	5,564
	燃やせないごみ	トン	680	712
	粗大ごみ	トン	944	901
	資源ごみ	トン	434	410
	計	トン	9,676	9,798
事業系	生ごみ	トン	1,735	1,711
	燃やせるごみ	トン	2,410	2,550
	燃やせないごみ	トン	118	162
	粗大ごみ	トン	252	345
	資源ごみ	トン	193	190
	計	トン	4,708	4,958
家庭系 + 事業系	生ごみ	トン	3,878	3,922
	燃やせるごみ	トン	7,885	8,114
	燃やせないごみ	トン	798	874
	粗大ごみ	トン	1,196	1,246
	資源ごみ	トン	627	600
	計	トン	14,384	14,756
資源化量 (資源回収以外)	燃やせないごみ・粗大ごみより回収	トン	607	566
	生ごみより回収	トン	152	157
	資源ごみより回収	トン	606	581
	計	トン	1,365	1,304
資源回収	拠点回収	トン	33	35
	集団資源回収	トン	1,831	1,958
	資源回収の合計	トン	1,864	1,993
合計 (+)		トン	16,248	16,749
1 人当たりの日排出量/人(資源回収除く)		グラム	918	934
	1 人当たりの日排出量/人(資源回収分含む)	グラム	1,037	1,060
	(参考)全国	グラム		976
	(参考)北海道	グラム		1,020
	●リサイクル率 (+)/	%	19.9	19.7
	(参考)全国	%		20.8
	(参考)北海道	%		22.8
●家庭系ごみ(資源ごみ及び資源回収除く)の 1 人当たり日排出量		グラム	590	594

表 2 一般廃棄物の収集内訳等

●印は数値目標項目

新しいごみ焼却施設を建設中です！！



現在、燃やせるごみの処理を委託している民間処理施設が閉鎖予定であることから、滝川市を含む近隣 14 市町が共同で、歌志内市内に新たなごみ焼却施設を建設しています。



平成25年4月稼働スタート予定!!

(2) 創エネ・省エネ 物語

1 平成 23 年度における数値目標の達成状況について

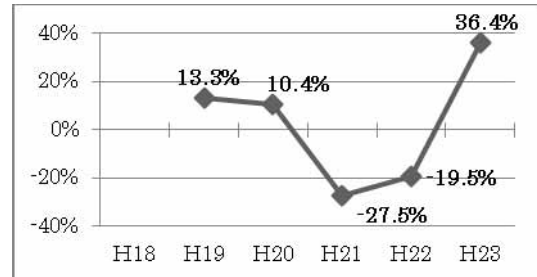
省エネモニターのCO₂削減量 ■CO₂排出係数について→p 8

目標値（平成 27 年度時点） 前年比で平均 1%削減

実績値（平成 23 年度） 2.6%増(H19～23 の平均値)

※本評価では電力消費量のみを対象としている。年度ごとの推移は P8 参照。

H23 年度までの状況



CO₂排出量の対前年度比増減率の推移

滝川市の公共施設におけるエネルギー消費量

(H23 年度から追加された数値目標)

目標値（期間中平均） 原単位で年平均 1%削減

実績値（平成 23 年度） 13.3%増

※ここでの原単位とは、施設の延床面積当たりのエネルギー消費量としている。



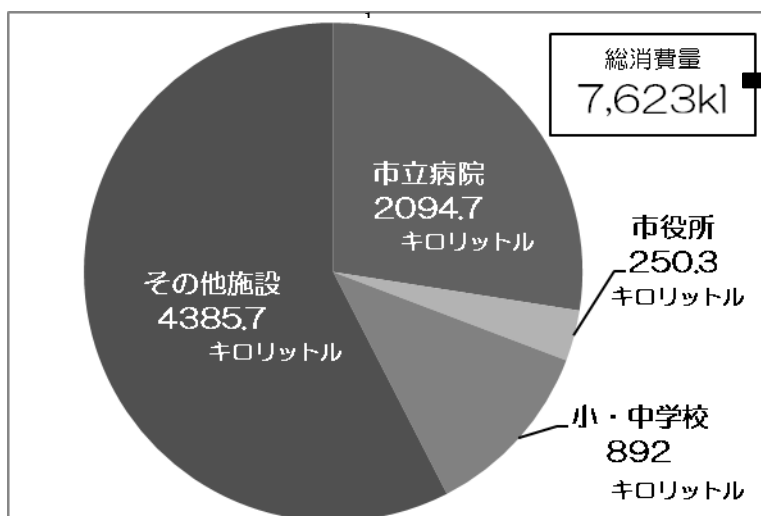
今後に向けた課題など...

東日本大震災の発生を契機に、エネルギー問題が大きくクローズアップされるようになり、滝川市においても省エネルギー及び再生可能エネルギーの導入を加速化させるとともに、市民の意識の向上にも努めていく必要があります。

2 平成 23 年度の主な取組等について

(1)滝川市の公共施設におけるエネルギー消費量について

滝川市が管理する公共施設全体で 1 年間に消費したエネルギー量は原油の量に換算すると、7,623 キロリットルになります。



滝川市の公共施設で 1 年間に消費された電気やガス、重油などのエネルギー量は、25m プールで約 12 杯分の原油と同じ量のエネルギー量となります。

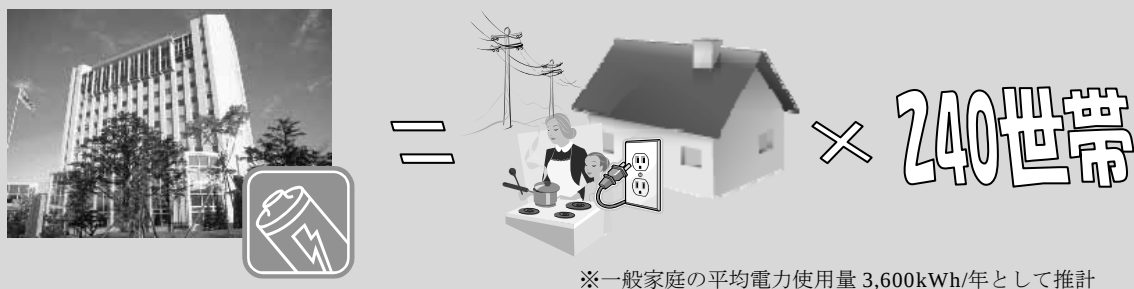
滝川市公共施設のエネルギー消費量



図 2 市公共施設におけるエネルギー消費量(原油換算)

市役所庁舎で消費する電力は一般家庭の何軒分？

市役所庁舎では平成 23 年度 1 年間に約 875,000kWh の電力が消費されました。
これは一般家庭の標準的な年間電力使用量の約 240 倍に相当します。



(2) バイオマスのエネルギー利用

① 下水道汚泥のエネルギー利用

滝川市の下水道は石狩川流域下水道(北海道及び 6 市 4 町により運営)に接続されており、奈井江町内にある下水道処理施設(奈井江管理センター)に送られ浄化されます。そこでは、浄化処理の過程で有機物からメタンガスを取り出し、生ごみ処理と同様、得られたガスを電力や熱に変換して利用しています。

	施設全体	滝川市分
I 汚泥処理量(トン)	3,752.1	1,472.7
II 消化ガス発生量(m³)	1,126,576	442,181
III 消化ガス使用量(m³) →消化ガス発電等として利用	1,014,860	398,333
IV 発電量(kWh)	1,722,330	676,015

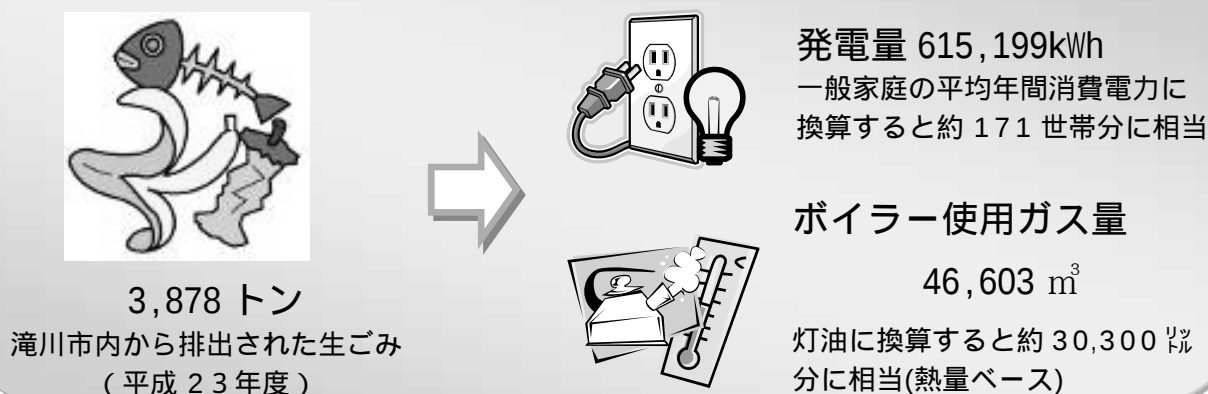
表 3 下水道汚泥の発生量及びエネルギー回収等について

※Ⅱ～Ⅳの滝川市分は下水処理量の割合から案分した値です。

② 生ごみのエネルギー利用

東滝川にある中空知衛生施設組合リサイクリン(滝川市のほか赤平市、芦別市、雨竜町、新十津川町と共同で運営)では、各市町で分別回収された生ごみ(一般廃棄物)から、メタンガスというエネルギーを取り出しています。メタンガスは発電機やボイラーの燃料として供給され、電力や熱に変換され施設の運営等に活用されています。

リサイクリンで生ごみから生み出された電力と熱



※それぞれ、施設全体の発電量及びボイラー使用ガス量に滝川市の生ごみ排出割合(60.1%)を乗じた値です。

図 3 生ごみからのエネルギー回収イメージ

(3)省エネ実践促進への取組

省エネルギーに対する意識の向上・普及を図るため、市民向けに「家庭でできるカンタン省エネレシピ！」を作成しました。手軽に省エネの実践を進めていただくためのテクニックや知識などをまとめています。また、要望に応じて、市の担当職員が講師として各種団体や学校などを訪ね、出前講座も実施しました。(→P8 参照)



インターネットで「滝川 省エネレシピ」と検索してみてください。

(4)省エネモニターの実施

各家庭で生活のなかでのエネルギーを意識していただきながら、具体的に省エネルギーにいかに取り組むべきかを考えていただけるよう、一般市民を対象に省エネモニターを実施しました。

- ・参加世帯数：49 世帯

うち 40 世帯については、比較対象となる前年度の電力消費量のデータと併せて提出があったため、数値目標の評価対象としました。

- ・モニター対象期間：平成 23 年 8 月～平成 24 年 2 月検針分
- ・対象エネルギー：電気、灯油、ガス、ガソリン

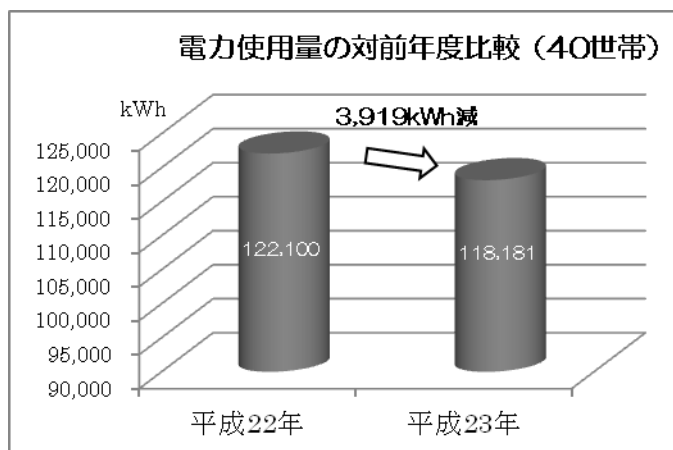


図 4 モニター世帯における電力消費量の推移について

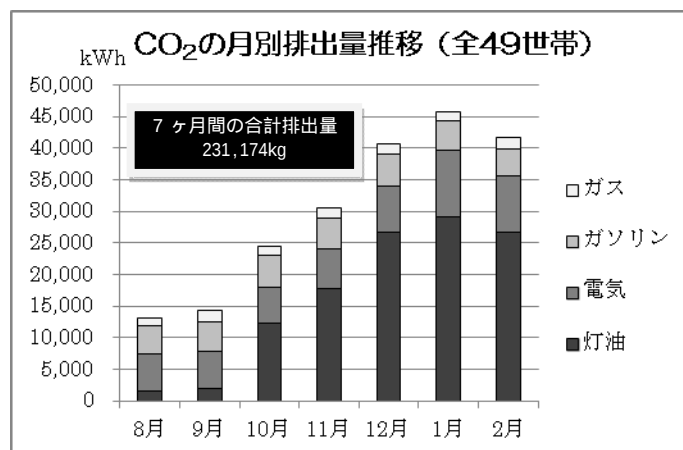
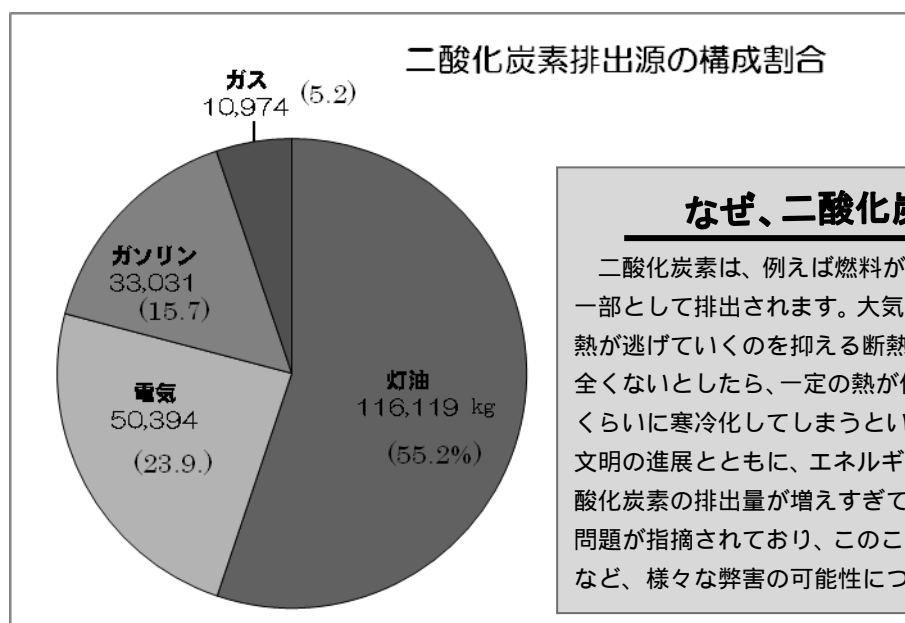


図 5 モニター世帯における二酸化炭素排出量の推移について



なぜ、二酸化炭素が問題なの？

二酸化炭素は、例えば燃料が燃える(消費される)際に排気ガスの一部として排出されます。大気に放出された二酸化炭素は、地球から熱が逃げていくのを抑える断熱材の役割を果たし、仮に二酸化炭素が全くないとしたら、一定の熱が保たれずに私たち人間が生活できないくらいに寒冷化してしまうといわれています。しかし、現在は高度な文明の進展とともに、エネルギー消費が拡大の一途をたどる中で、二酸化炭素の排出量が増えすぎて、地球が過度に温暖化しているという問題が指摘されており、このことによって、海面の上昇や疫病の流行など、様々な弊害の可能性について議論されています。

図 6 モニター世帯における二酸化炭素排出割合について

比較年度	モニター世帯数	年度	使用電力 (kWh)	CO ₂ 排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	CO ₂ 排出量 (t)	前年度比較	エネルギー消費量	対象月数
			A	B	A × B		CO ₂ 発生量	
H18→H19	19 世帯	H18	26,492	0.000479	12.7		+4.9%	2 月～3 月
		H19	27,802	0.000517	14.4		+13.3%	
H19→H20	58 世帯	H19	178,987		92.5		-2.9%	8 月～2 月
		H20	173,735	0.000588	102.2		+10.4%	
H20→H21	50 世帯	H20	148,781		87.5		+0.8%	8 月～2 月
		H21	149,938	0.000423	63.4		-27.5%	
H21→H22	53 世帯	H21	163,972		69.4		-1.0%	8 月～2 月
		H22	162,301	0.000344	55.8		-19.5%	
H22→H23	40 世帯	H22	122,100		42.0		-3.2%	8 月～2 月
		H23	118,181	0.000485	57.3		+36.4%	

表 4 省エネモニターにおける電力消費に係る二酸化炭素排出量等の推移

電力会社の CO₂ 排出係数が毎年変動する理由は？

電力会社では火力や原子力、水力や太陽光など様々なエネルギーをミックスしながら発電し、電力を供給しています。それぞれの種別ごとに CO₂ の排出量が異なるため、その年の発電実績からその電力会社全体の 1kWh 当たりの排出量が排出係数として決定されます。

担当職員が学校や団体へ講師としておじゃましました！

○ たきかわエコ・エネルギー教室

- ・実施日時：平成 23 年 5 月 6 日 10:30～11:15
- ・参加人数：41 名
- ・対象：江部乙小学校(4 年生及び 5 年生)
- ・内容：エネルギーの大切さや、省エネルギーの必要性について



○ 誰でもカンタン省エネトクトク講座

- ・実施日時：平成 23 年 7 月 27 日 10:30～11:30
- ・参加人数：16 名
- ・対象：一般市民
- ・内容：圧力鍋や LED 電球の具体的な省エネ性能やその他省エネルギー対策について

○ 滝川農協女性部出前講座

- ・実施日時：平成 24 年 1 月 18 日 10:30～11:30
- ・参加人数：20 名
- ・対象：滝川農協女性部
- ・内容：家庭で簡単にできる省エネルギーの実践方法やその必要性について



市では皆様の御要望に応じて、エネルギーや省エネに関して基礎的な内容を中心として、出前講座を実施しておりますので、講師派遣をご希望の方はお気軽に御相談下さい。

(5)市内公共施設における太陽光発電設備のデータの公表

平成 22 年度に設置した滝川市役所庁舎壁面の太陽光発電設備のほか、滝川市内の公共施

設（北海道滝川高等学校、札幌地方検察庁滝川支部）に設置されている太陽光発電システムの発電量も集計し、滝川市公式ホームページ）において公表しています。



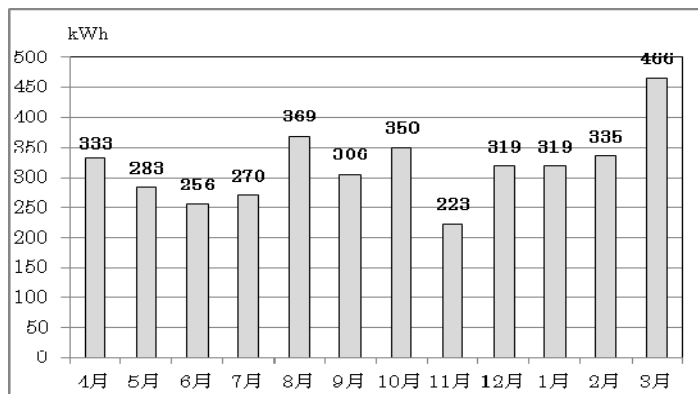
インターネットで「滝川 公共施設 太陽光発電」と検索してみてください。

各施設における発電量について

i) 滝川市役所



- ・出力：5kW
- ・角度：90°
- ・年間発電量(推計)：3,829kWh
- ・設置年月日：平成 22 年 12 月

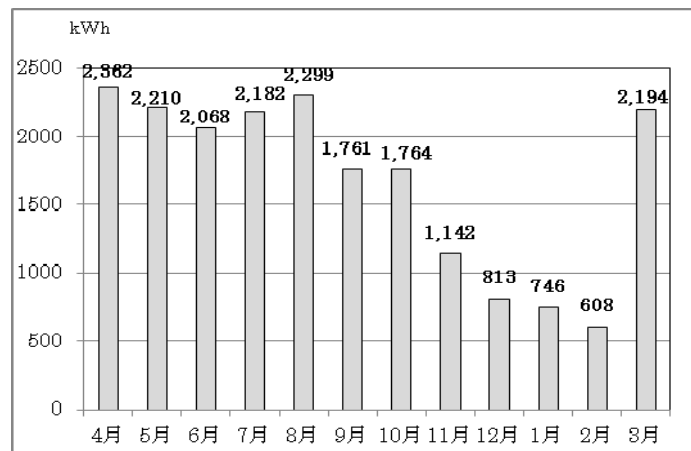


※12月、1月の発電量については機器の不具合により、データの記録ができなかったが、壁面設置のため、積雪の影響がないことを踏まえ、他10ヶ月間の平均の値となる319kWhを入れ推計した。

ii) 北海道滝川高等学校



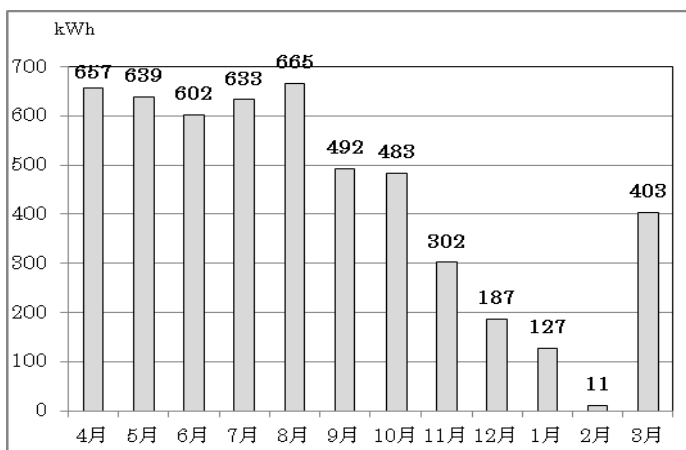
- ・出力：20kW
- ・角度：50°
- ・年間発電量：20,149kWh
- ・設置年月日：平成 22 年 12 月



iii) 札幌地方検察庁滝川支部



- ・出力：5kW
- ・角度：45°
- ・年間発電量：5,201kWh
- ・設置年月日：平成 22 年 7 月



(3) 農・山・川 (ノー・ザン・リバー) 物語

1 平成 23 年度における数値目標の達成状況について

農業体験授業(事業)実施校数

(H23 年度から追加された数値目標)

目標値(平成 27 年度時点) 40 校/累計

実績値(平成 23 年度) 6 校/年

○平成 23 年度の実施校(順不同)

東小学校、西小学校、滝川第二小学校、江部乙小学校、
滝川西高等学校、國學院大学北海道短期大学部

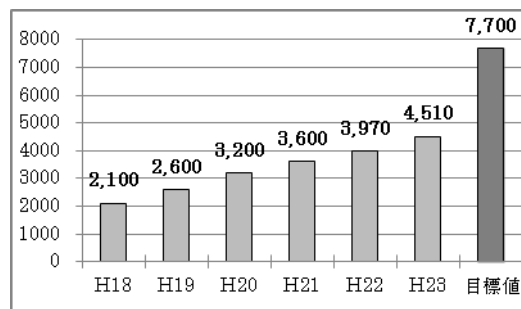
石狩川ルネサンスの森市民植樹祭植樹本数

目標値(平成 18~27 年度累計) 7,700 本

実績値(平成 23 年度末累計) 4,510 本

(うち平成 23 年度 530 本/年)

H23 年度までの状況



石狩川ルネサンスの森市民植樹祭植樹本数(累計)



今後に向けた課題など...

植樹は多くの市民参加のもと、着実に目標値に近づいていますが、植樹後の森のメンテナンス作業も重要な取組です。農業体験授業は民間団体や教育機関等との相互協力を進めながら、拡大に向けたベースづくりを継続的に取り組む必要があります。

2 平成 23 年度の主な取組等について

(1) 地域農業の振興と住民等との交流促進のための取組

① ふれ愛の里・秋の体験と収穫祭

- ・開催日 平成 23 年 10 月 9 日
- ・内容 体験そば打ち・パンづくり、野菜収穫、滝川市観光大使横綱白鵬関ステージイベント、白鵬米の販売、新そば販売 P R、ハルユタカ製品販売 P R、相撲グッズ販売



② 農業体験の推進

i 心と体を育てる体験型食育教室

地域農業者との連携を図りながら、農業体験等を通じて、次世代を担う子どもや学生たちに食や環境の大切さについて理解を深めてもらうためのプログラムを実施しました。

㍿ 青年期食育教室

- ・対象：國學院大学北海道短期大学部幼児・児童教養学科児童教育コース 2 学

年 20 名

- ・内 容：稲作体験（田植え、草取り、生き物観察、稲刈り、はぎかけ、脱穀）
調理実習（収穫祭、もちつき、おにぎりや雑煮づくり） など
（全 5 回、参加人数計：117 名（1 回～4 回：20 名、5 回：37 名））

イ) 夏やすみ親子農業体験

- ・対 象：小学生の親子
- ・内 容：農業体験及び収穫した食材を使つてのカレー調理・会食



ウ) 「滝川おもしろ食育塾」(→P15参照) の取組

■思春期食育教室

- ・対 象：滝川西高等学校 3 年生フードデザインコース
B コース(全 7 回：計 108 名)
- ・内 容：大豆畑作体験（畑おこし、種まき、講義、調理実習、収穫、加工体験（豆腐、豆乳づくり））

■食育講演会

- ・対 象：食育を推進している関係者及び一般市民
- ・実 施 日：平成 24 年 3 月 24 日
- ・参加人数：24 名
- ・テ ー マ：「いのちを伝える食農教育」
- ・講 師：北海道食育コーディネーター 三田村 雅人 氏



ii グリーンツーリズムに係る取組

ア) 「そらち DE い〜ね」¹ を介した受入事業

- ・時 期 平成 23 年 5 月 28 日～平成 24 年 1 月 18 日
- ・人 数 19 校 327 名
- ・農 家 延べ 89 戸

イ) 國學院久我山中学校（東京都）の受入事業

- ・時 期 男子～平成 23 年 9 月 1 日～2 日（1 日半の日帰り農業体験）
女子～平成 23 年 9 月 3 日～4 日（1 日半の日帰り農業体験）
- ・人 数 66 名（男子 47 名、女子 19 名）
- ・農 家 18 戸

※これらの受入のほか、個別農家単位での受入等の取組も行われています。



(2) 豊かな森づくりのための取組

① 市民植樹祭

- ・開 催 日：平成 23 年 6 月 12 日
- ・植樹場所：丸加高原
- ・参加者数：160 人

② たきかわ環境セミナーの開催

- ・開 催 日：平成 24 年 2 月 25 日



¹ 従来、農業体験受け入れ事業は主に地域の有志農家によって支えられてきていたという側面がありましたが、昨今、学校の修学旅行に組み込まれるケースも増え、道外からの団体の受入需要も増えています。そこで、空知管内で地域の特色を活かした都市農村交流に取り組んでいる各団体が相互に連携、ネットワーク化し、“そらち DE い〜ね”として、そういったニーズに円滑に対応するための取組を進めており、滝川市内の農家においても道内外からの多くの受入れ実績があります。

- ・参加人数：113 名
- ・テーマ：「キノコと森林の関わり」
- ・講師：北海道大学名誉教授 農学博士 五十嵐 恒夫 氏

(3)川との共生に向けた取組

「まちづくり・川づくり協議会」の取組

(→P15 参照、現在「NPO 法人まち・川サポートセンター」に改称)

- 石狩川クリーンアップ作戦（美化活動）、石狩川再生の森植樹祭
石狩川築堤、ラウネ川とその周辺への植樹・清掃活動
- ・開催日：平成 23 年 5 月 22 日
- ・参加人数：120 名
- ・植樹本数：115 本



(4)自然とのふれあいへの取組

「たきかわ環境フォーラム」(→P15 参照) による取組

■エコカフェの開催（全 6 回）

※テーマに沿って講師を中心に身近な環境問題について語り合う集いです。

「新しいエコ・フットパスマップ、できました」（たきかわ環境フォーラム運営委員）

「自然エネルギー社会へのみちすじ」（NPO 法人北海道グリーンファンド事務局長：鈴木亨さん）

「ぼくはコウモリ」（写真家：中島宏章さん）

「画家と自然～「道産子追憶之巻」の風景から」（たきかわ環境フォーラム：河野敏昭さん）

「空知の鳥暦 2011」（映像作家、たきかわ環境フォーラム：越後弘さん）

「江戸乙町うりゅう沼川の生き物たち」（たきかわ環境フォーラム運営委員）

■「たきかわエコ・フェスタ 2011」の開催

○パネルディスカッション

○ネイチャー作品上映

○再生可能エネルギー展示会

・出展企業・団体

株式会社泰進建設（札幌・滝川）、NPO 法人北海道グリーンファンド（札幌）、いわた書店（砂川）、北海道 ECO ネットワーク（札幌）、北海道富士電機株式会社（札幌）、北海道ペレット株式会社（月形・江別）、沼田町役場（輝け雪のまち宣言）

■「うりゅう沼川生物調査」の実施

滝川遊学会や水土里ネット北海道（北海道土地改良事業団体連合会）とともに、「うりゅう沼川生物調査」を実施。

■「身近な水環境の全国一斉調査」に参加

滝川市南東部の石狩川水系空知川において COD（科学的酸素要求量）値を測定。

■「エコフェスタ 2011 実行委員会」に参加

■「東滝川自然観察会（東滝川農地水環境協議会主催）」に参加 など

■印はそれぞれ民間団体等による取組ですが、ユニークな取組として、また多くの方々に支えられている取組として、ここで特に取り上げさせていただきました。

(4) 人の環(わ)づくり 物語

1 平成 23 年度における数値目標の達成状況について

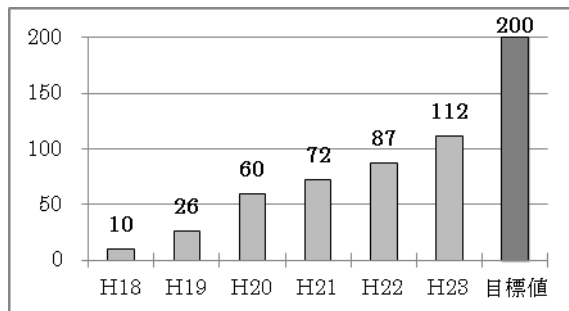
環境学習リーダーの人数

目標値（平成 18 年度～27 年度累計） 200 人

実績値（平成 23 年度末累計） 112 人

（うち H23 年度 25 人/年）

平成 23 年度までの状況

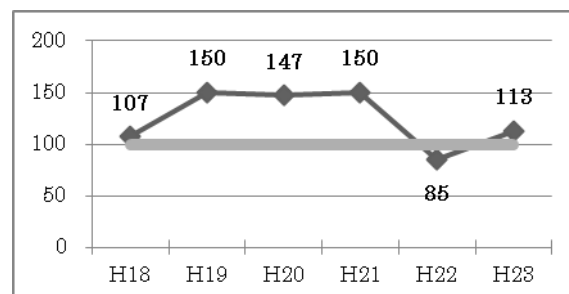


環境学習リーダーの人数（累計）

環境市民大会 の参加者数

目標値 100 人/回

実績値（平成 23 年度） 113 人/回



環境市民大会の参加者数

*環境市民大会は環境に関する市民からの意見等を聴取する場として市が、毎年度、開催することとしています。

環境関連イベントにおける参加者の平均評価点

（H23 年度から追加された数値目標）

目標値 85 点/年平均

実績値（平成 23 年度） 83.6 点/年平均

（対象：4 イベント 内訳等詳細は P15 を参照）



今後に向けた課題など...

新しく創設したたきかわエコネットを最大限に活用しながら、市民レベルでの幅広い参加と交流を促すとともに、行政としてのアプローチの方法についてもレベルアップを図っていく必要があります。

2 平成 23 年度の主な取組等について

(1) 環境学習リーダーの養成講座の開催

○第 1 日目（平成 24 年 2 月 14 日、座学）

「キーワードで読み解くエネルギー問題～再生可能エネルギーと省エネルギー～」

第 1 日目は国の機関（経済産業省北海道経済産業局）より講師をお招きし、エネルギーに関する問題を 4 つのキーワード（エネルギーミックス、省エネ、再生可能エネルギー、スマート）の視点からお話をさせていただきました。



○第2日目(2月15日、施設見学)

第2日目は砂川市(火力発電所)と苫小牧市(廃プラスチック発電所)にある二つの発電所を訪ね、実際に電気ができる現場の様子を感じ取っていただきました。

①北海道電力(株)砂川火力発電所

②(株)サニックスエナジー苫小牧発電所

参加者数 第1日目 25名 第2日目 23名 (うち両日とも参加 23名)

(2)たきかわ環境セミナーの開催(再掲、P12参照)

当該イベントを環境市民大会として位置づけ、参加者に数値目標の達成状況や環境関連の取り組み等についてご報告申し上げるとともに、市の環境政策に対するご意見をいただくため、会場でアンケートを実施いたしました。

(3)たきかわエコネットの運用開始

市が情報の仲介役として、滝川市における環境に関する取り組み等の円滑な情報交流や、団体や個人などの相互の連携構築を支援する制度として平成23年11月より「たきかわエコネット」をスタートさせました。

 インターネットで「たきかわエコネット」と検索してみてください。

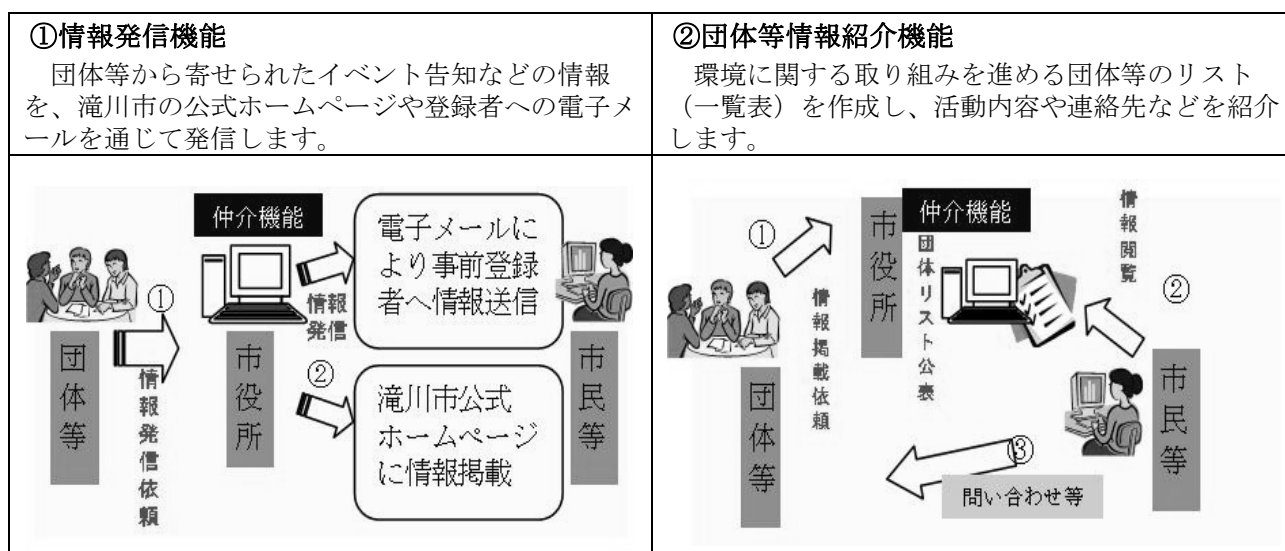


図7 たきかわエコネットの運用イメージ

たきかわエコネットに登録いただいている団体：6団体(平成24年7月末現在)

団体名	活動内容
「緑とエコ」サポーターネット	
	当会は平成13年6月10日に行われた「石狩川ルネサンスの森」の創設時に、森林の持つ多様な機能の育成と緑によるゆとりと潤いのある環境の整備を図り、循環型社会づくりを進めることを目的として設立しました。これまでの主な活動は、毎年行われる「石狩川ルネサンスの森」整備事業であり、その他には、石狩川の水源のひとつである南富良野町にあるかなやま湖で「水源の森創造交流会」などを行っております。

団体名	活動内容
滝川消費者協会 	・二酸化炭素の排出量の問題提起 ・環境家計簿の取組み ・不要傘及び和服等の再利用 本会は環境保全への取組みはもちろんのこと、消費生活の安定向上及び消費の合理化普及を目指すため、各種イベントを開催し、会員相互の親睦並びに一般消費者とのふれあいを目的に事業を行っております。
たきかわ環境フォーラム 	「森のかがく活動センター」を本拠にする市民グループ「たきかわ環境フォーラム」は、ひとつのキーワードを掲げて活動しています。それは「エコアップ!」。私たちが暮らす地域の環境を見つめ直しながら、ちょっとずつ「自然の豊かさ」を高めていこう、という願いを込めました。実現のために情報を集めたり、その情報を再発信したりする役目も果たせたらと思っています。
日本野鳥の会滝川支部 	滝川市を中心に空知管内でバードウォッチングをととして自然保護活動を行っています。石狩川と空知川の2大河川が流れる空知には広大な河川敷地と河畔林があり、草原や森林を好む鳥たちの重要な繁殖地となっています。また、河川改修でできた三日月湖も多く残っていて、渡り鳥たちが旅の途中で羽を休め繁殖地や越冬地に向かいます。そんな野鳥たちの観察記録を蓄積し、鳥たちの生息環境の保全活動をしています。
NPO 法人 まち・川サポートセンター 	石狩川再生の森整備、ゴミ拾い活動、水防水難訓練支援（レスキュー訓練、舟漕ぎ大会）、たきかわ子ども水辺協議会の活動、指導者の育成（RAC、CONE、プロジェクトWET・ワイルド・グリーンツリーなど）
滝川おもしろ食育塾 	滝川市内の未成年への農業体験を主軸とする食育教育の企画、現場活動を行っています。現在、國學院短大、滝川西高等学校家庭科で実施中。今年度は小学生の夏休み教育ファームを实践致します。 中空知で生まれ育った子供たちが、命を繋ぐ食と人との関わりを五感で感じることや、故郷の農村に誇りと持ていただくことなど、その後に良い影響を受けてもらう事を目標に活動しています。

市主催の環境関連イベントにおける参加者による採点結果について

開催日	イベント名	参加者数	平均点数
7月27日(水)	誰でもカンタン省エネトクトク教室	16名	85.3点
1月18日(水)	滝川農協女性部出前講座	20名	86.9点
2月14日(月) 15日(火)	滝川市環境学習リーダー養成講座	1日目 25名 2日目 23名	85.2点
2月25日(土)	たきかわ環境セミナー	113名	76.9点
滝川市が主催する環境関連イベントにおいて、参加者に対してイベントとしての採点（100点満点）をしていただいた結果をまとめました。			合計 83.6点



環境都市宣言

わたしたちのまち滝川は、石狩川と空知川に育まれた豊かな大地と自然の恵みを受けて、健康で文化的なまちとして発展してきました。

しかし、今、人々の営みは、豊かな自然や調和のとれた地球環境に大きな影響を与えています。

21世紀を迎え、わたしたちは、地域の優れた環境を再生し、美しい地球を未来に引き継ぐため、環境にやさしいまちづくりに努めることを誓います。

平成15年1月1日

滝 川 市



たきかわ「環のまち」物語

— 年次報告書 —

(平成 23 年度評価版)

〒073-8686

北海道滝川市大町 1 丁目 2 番 1 5 号

滝川市 市民生活部くらし支援課（環境衛生担当）

電話 0125-28-8013（直通）

FAX 0125-24-0154

e-mail kurasi@city.takikawa.hokkaido.jp